

令和4年度 塩谷地区 さくら市支部研修報告

会長名	氏名 井上 茂夫	さくら市立 氏家中学校	研修担当者	氏名 村上 千鶴	さくら市立 喜連川小学校	会員数	11名
支部の研修テーマ及び地域の現状や特色							
研修テーマ 現状と特色	「さくら市の学校事務の改善を図る」 今年度も氏家小学校に共同実施のための加配があるが、近年、新採者が継続的に配置され、世代交代が急速に進んでいる。複数の学校の事務職員が共同で業務を実施したり、事務支援をしたりすることにより事務改善をさらに図り、学校経営を支える学校事務職員を目指す。						
研修日等	研修会の主な内容					研修会主催者	
6月1日(水) 会場：喜連川庁舎 時間：9:30～12:00	○第1回共同実施推進協議会 ○共同実施「諸帳簿互審会(令和4年2～3月分)」					さくら市教育委員会 さくら市立学校事務共同 実施推進協議会	
6月30日(木) 会場：喜連川公民館 時間：13:30～16:30	○市教委との情報交換 ○共同実施「諸帳簿互審会(令和4年4～6月分)」					さくら市教育委員会 さくら市立学校事務研究会 さくら市立学校事務共同 実施推進協議会	
7月7日(木) 会場：喜連川公民館 時間：9:00～16:30	○給与旅費関係帳簿互審会(内部監査対応) ○事例検討会					さくら市立学校事務研究会	
8月2日(火) 会場：喜連川公民館 時間：8:45～12:00	○栃銀インターネットバンキング手続きについて ○学校事務年間計画(月別チェックシート)について ★新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため研修時間変更					さくら市立学校事務研究会 さくら市立学校事務共同 実施推進協議会	
9月13日(火) 会場：喜連川公民館 時間：13:30～16:30	○市教委との情報交換 ○先輩事務職員の話 (さくら市立上松山小学校事務長 廣田 則子 様)					さくら市立学校事務研究会	
9月29日(木) 会場：喜連川庁舎 時間：13:30～16:30	○共同実施「諸帳簿互審会(7～9月分)」					さくら市立学校事務共同 実施推進協議会	
11月17日(木) 会場：喜連川公民館 時間：13:30～16:30	○市教委との情報交換会 ○年末調整互審会					さくら市立学校事務研究会	
12月13日(火) 会場：喜連川庁舎 時間：13:00～16:30	○講話 「これからの学校事務職員の職務と期待される姿」 講師 さくら市立喜連川小学校教頭 仁平 博幸 様 ○共同実施「諸帳簿互審会(10～11月分)」 ○次年度文書分類表検討					さくら市立学校事務研究会 さくら市立学校事務共同 実施推進協議会	
1月31日(火) 会場：喜連川庁舎 時間：13:30～16:30	○市教委との情報交換 ○今年度の研修のまとめ(市事研・共同実施) ○学校事務年間計画(月別チェックシート)について					さくら市教育委員会 さくら市立学校事務研究会 さくら市立学校事務共同 実施推進協議会	
2月27日(月) 会場：喜連川公民館 時間：13:30～16:30	○第2回共同実施推進協議会 ○共同実施「諸帳簿互審会(12～2月分)」					さくら市教育委員会 さくら市立学校事務共同 実施推進協議会	
研修成果と課題							
<p>研修を通して、全校で給与・旅費やサービス関係諸帳簿等の互審及び事例検討を行うことにより、事前に各種帳簿等の正確な処理や確認等ができ、各校の諸帳簿等のミスも無くすることができたため、内部監査へも安心して対応することができた。</p> <p>互審会を行う中で事例検討や情報提供等を行うことにより、情報の共有や知識を深めることができ、経験年数が浅い職員にとっても研修の場にもなった。</p> <p>また、先輩事務長からの話を聞くことで、日頃の職務を振り返り、自分たちは学校の組織の一員として、そして子どもたちのために、どのように行動していくべきかを改めて学ぶ機会となった。</p> <p>本年度は、市教頭会長の講話を計画し「これからの学校事務職員の職務と期待される姿」と題し、自身の職務について、出席者全員で自ら考え、学ぶ研修を計画した。校内で連携を密にしなければならない教頭先生からの講話は、一人一人の意識改善につながる研修となり、大変有意義な研修となった。また、定期的に市教委担当者と合同で研修を行うことにより、学校・市教委と情報の共有や確認、要望等を行うことができた。</p> <p>さくら市内小中学校共通で使用している文書分類表も継続して見直しを行い、次年度に向けてスムーズにファイル等を準備することができた。</p> <p>次年度も、情報・知識の共有や若手育成の場(OJT)として、さらなる研修の充実を図っていきたいが、会員も若年層が会の中心となってきている今、研修内容や研修回数・時間等について、今後も検討していく必要がある。</p>							